

パネルディスカッション

～下水汚泥利活用による事業化の取組について～

改築更新時などにおける下水汚泥が持つエネルギーなどの利活用にあたっては、創エネルギーと投入エネルギーの収支、エネルギー利用効率、ライフサイクルコストの最小化などを踏まえ、汚泥処理システム全体での最適化を図る必要があります。

このため、本シンポジウムでは、汚泥エネルギーの利活用方法の選定における課題と対応について、先進都市の事例紹介、パネルディスカッションを通じて情報発信を行います。

1. 期日・会場 平成30年7月24日(火) 13:00～16:25 北九州国際会議場メインホール

2. 日 程:

	内 容	講 師 (予定)
13:00～13:05	開会挨拶	日本下水道協会
13:05～13:25	下水汚泥有効利用の現状と推進に向けた取組み (仮題) エネルギー化施策の取組み	国土交通省水管理・国土保全局 下水道部下水道国際・技術調整官調 整官 阿部 千雅
13:25～13:40	造粒乾燥を用いた汚泥燃料化事業の取組み (仮題) 消化有 (蒸気乾燥利用)	北九州市上下水道局下水道部 施設課長 南雲 伸司
13:40～13:55	焼却施設からのエネルギー自立型発電の取組み (仮題) 消化無、焼却廃熱利用、中温炭化	東京都下水道局建設部 設備設計課長 佐藤 勝
13:55～14:10	低温炭化を用いた汚泥燃料化事業及び消化ガス発電 事業 (場内利用) の取組み (仮題) 消化有 (場内利用;500kw) 及び乾燥熱源利用、焼却無	熊本市上下水道局水再生課 主査 八木 三喜
14:10～14:25	ストーカ式焼却排熱発電を用いた場内利用の取組み (仮題) 消化無、焼却排熱利用	札幌市下水道河川局事業推進部 下水道計画課事業担当課長 安田 卓生
14:25～14:40	消化ガス発電を用いた FIT 事業(系外利用)の取組み (仮題) 消化有 (系外利用;275kw)	宮崎市上下水道局下水道施設課 主幹 矢野 弘訓
14:40～14:50	休 憩	
14:50～16:20	パネルディスカッション (パネラー: 上記講演都市、座長: 国交省 阿部千雅 氏) 汚泥エネルギー化施設改築・更新時における課題や留意事項について ・汚泥燃料化技術選定の考え方 (論点: 中温、低温、造粒の選定) ・消化設備導入有無の考え方 (論点: 実施有無の選定) ・消化ガスの有効利用手法 (場内・場外(FIT事業)) の考え方 (論点: 消化ガス有効利用方法の選定) ・焼却設備からのエネルギー回収の考え方 (論点: 課題と対応)	
16:20～16:25	閉会挨拶	日本下水道協会

申込はコチラから

<https://formcreator.jp/answer.php?key=JFirGL4qFAoc%2B5Mt2W811g%3D%3D>